

有限会社
やなぎ

ぎょう

柳紙業

紙類のみならず、地域の様々なごみを
リサイクルする仕事をしています。

資源リサイクル業

勤務地 / 新居浜市観音原町乙

をご紹介します！



社名 / 有限会社 柳紙業 (やなぎぎょう)
住所 / 愛媛県新居浜市観音原町乙 2-13
設立年月日 / 2006年(平成18年)1月・創業1978年(昭和53年)
代表者 / 柳 克寿
資本金 / 300万円
従業員数 / 19名(2026年6月時点)

募集職種 地球環境を守る！リサイクルスタッフ

HP



マストで知りたい Q&A

Q1 どんな仕事をするんですか？

地域の家庭や会社から出るゴミや資源物を回収し、リサイクルや適切な処理を行う仕事です。ただ集めるだけでなく、街をきれいに保ち、地域の暮らしを支える大切な役割を担っています。

Q2 体力がないと続きませんか？

最初は少し大変に感じるかもしれませんが、特別な体力は必要ありません。実際に体力に自信がなかった先輩も活躍しています。毎日を動かす仕事なので、続けるうちに自然と体力がついてきますよ。

Q3 勉強が苦手でも活躍できますか？

もちろんできます。学校の成績よりも大切なのは、挨拶や素直さ、コツコツ頑張る気持ちです。仕事に必要なことは入社してから少しずつ覚えていけます。実際に勉強が得意ではなかった先輩もたくさん活躍しています。

Q4 休みはちゃんと取れますか？

私たちの仕事は決まったルートやスケジュールで動くことが多く、急な呼び出しやイレギュラーな対応はありません。そのため休日の予定も立てやすく、有給休暇も取得しやすい環境です。

Q5 きちんと定時で帰れますか？

基本的に残業はありません。決まったルートやスケジュールで仕事を進めるため、毎日大きく帰宅時間が遅くなることは少ないです。仕事が終わればしっかり帰れるので、家族との時間や趣味の時間も大切にできます。

Q6 20代でどれくらい稼げますか？

入社後は経験や資格を増やしながら少しずつ収入も上がります。20代で年収400万円前後を目指すことも可能です。大きく稼ぐ仕事ではありませんが、安定した収入を得ながら将来の生活設計を立てやすい仕事です。



Katsutoshi
Yanagi

柳 克寿

社長の柳です！

ぶっちゃけコレが知りたい！

Q1 地域のどんな役に立っているんですか？

私たちは家庭や会社から出る資源物を回収し、リサイクルに繋がっています。この仕事がなければ街はすぐにゴミであふれてしまいます。地域のきれいな環境を守り、みんなが当たり前で暮らせる毎日を支えている仕事です。

Q2 この仕事はAIに奪われませんか？

AIが発達しても、実際に現場へ行き、資源物を回収し、安全に運搬する仕事は人にしかできません。むしろ環境やリサイクルへの関心が高まるほど、これから必要とされ続ける仕事だと思います。

Q3 景気が悪くなくても仕事はありますか？

景気が良くても悪くても、家庭や会社から出るゴミや資源物はなくなりません。私たちの仕事は地域の暮らしを支えるインフラの一つです。そのため景気の影響を受けにくく、安定して働き続けられる仕事です。

Q4 地元ですと働けますか？

もちろんです。転勤はなく、これからも新居浜を中心に地域に必要とされる仕事を続けていきます。慣れ親しんだ地元で働きながら、家族や友人とのつながりを大切にできるのも、この仕事の魅力の一つです。

Q5 どんな人が向いていますか？

才能や経験は必要ありません。挨拶ができる人、約束を守る人、コツコツ頑張る人なら活躍できます。チームで協力して仕事をするので、仲間を大切にできる人や、人の役に立つことが好きな人に向いている仕事です。

Q6 やりたいことが見つからない僕でも大丈夫ですか？

もちろん大丈夫です。最初からやりたいことが決まっている人の方が少ないと思います。大切なのは、まず一歩踏み出してみること。働きながら自分に向いていることや好きなことが見つかる人もたくさんいます。



K・K

入社歴 1年目



新居浜の暮らしを支え、地域の未来を守る仕事。

目立たなくても欠かせない。
地域の当たり前の暮らしを支える誇りある仕事です。

社長が高校生に伝えたいことは何ですか？

将来やりたいことが決まっていなくても、焦る必要はありません。大切なのは、まず一歩踏み出して挑戦してみることです。柳紙業は創業以来、地域に必要とされる仕事を続け、行政からの業務も数多く任せていただいています。それは長年積み重ねてきた信頼の証です。そして今は、DXを活用した回収見積もりサイトの運営など、新しい取り組みにも積極的に挑戦しながら事業を広げています。時代が変わっても必要とされる仕事を守りながら、新しいことにも挑戦し続ける。それが私たちの会社です。今の知識や経験よりも、「やってみよう」という気持ちを大切にしてください。皆さんの可能性は、これくらいくでも広がっていきます。

入社から10年後どうなっていますか？

10年後には、ただ資源物を回収する人ではなく、地域から信頼されるプロとして活躍していると思います。回収ルートや作業を一人で任されるだけでなく、後輩を指導したり、お客様から相談を受けたりする立場になっているかもしれません。また、フォークリフトなどの資格も取得し、仕事の幅も大きく広がっています。柳紙業は行政からの仕事も多く、地域に欠かせない存在です。そんな会社の中心メンバーとして、新居浜の暮らしや環境を支える誇りを持って働いているはず。10年前には想像できなかった自信と経験を手にし、自分自身の成長を実感できる未来が待っています。



本当に知りたいこと

メリットもデメリットも全部正直に



知らなかった、この仕事の凄さ。

毎日何気なく過ごせる街の景色、目立たないけれど欠かせない。
地域の暮らしを支える社会インフラの仕事です。

地域の暮らしを止めない仕事。

私たちの仕事は、普段はあまり目立たないかもしれませんが、もし回収の仕事が1日止まってしまったらどうなるでしょうか。家庭や会社から出るゴミや資源物は行き場を失い、街の環境はあっという間に変わってしまいます。地域の人が気持ちよく暮らし、企業が安心して活動できるのは、私たちが毎日欠かさず回収を続けているからです。決して派手な仕事ではありませんが、地域の暮らしを支える大切な社会インフラの一つです。誰かの役に立っていることを実感できる仕事だからこそ、大きな誇りとやりがいがあります。私たちは今日も、新居浜の当たり前の毎日を支えています。

ゴミを資源に変える仕事。

私たちが回収している段ボールや新聞紙、雑誌、ペットボトルなどは、一度使われたら終わりではありません。適切に分別し、リサイクルすることで、新しい製品や資源として再び活用されます。もし回収されなければ、多くのものがそのまま廃棄され、環境への負担も大きくなってしまいます。私たちの仕事は、不要になったものに新しい価値を生み出し、限りある資源を未来へつなぐこと。ゴミを処分する仕事ではなく、資源を循環させる仕事です。地域の環境を守りながら、持続可能な社会づくりに貢献できることも、この仕事の大きな誇りです。



街の人は知らない？この仕事のすごさって何ですか？

私たちが止まれば街も止まる。
地域の当たり前を支える誇りある仕事です。

この仕事が無くなったらどうなる？

もし私たちの仕事が無くなったら、街にはゴミや資源物がどんどん溜まり、快適な暮らしを維持することができなくなります。家庭や会社、学校から出るゴミは毎日発生しています。その回収やリサイクルが止まれば、衛生環境の悪化や不法投棄の増加など、地域全体に大きな影響が出てしまいます。普段は意識されることが少ない仕事ですが、実は人々の暮らしを支える大切な社会インフラの一つです。目立たなくても、誰かが必ずやらなければならない仕事。そして地域の当たり前の日常を守り続けている仕事。それが私たちの仕事なのです。

リサイクル事業の可能性。

これからの時代、リサイクルの重要性はますます高まっていきます。世界中で環境問題や資源不足が課題となる中、限りある資源を有効活用する「循環型社会」の実現が求められています。私たちが回収している段ボールや新聞紙、ペットボトルなどは、新たな資源として生まれ変わり、再び社会で活用されています。つまりリサイクル事業は、単なる回収業ではなく、未来の環境を守る仕事でもあるのです。さらに近年はDXやデジタル技術の活用も進み、回収や資源管理の効率化、新たなサービスの展開も広がっています。地域の暮らしを支えながら、環境問題の解決にも貢献できる。リサイクル事業には、これからの社会を支える大きな可能性があります。

